



週報



所沢西ロータリークラブ
(RI第 2570 地区第 3 グループ)

会長 室伏秀樹 ・ 副会長 原 正興
会長エレクト 栗原和明 ・ 幹事 大館信夫
クラブ管理運営委員長 山崎武邦

例会場 〒359-1127 所沢市星の宮1-3-5 セレス所沢 TEL.04-2923-4122

事務局 〒359-1143 所沢市宮本町2-22-25 角田ビル3F TEL.

例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/> FAX.2926-5151

E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp

近辺 RC の開催日一覧表 (メーキャップにご利用ください)

クラブ	所沢中央	所 沢	新 所 沢	所 沢 東
例会日	月曜夜間	火 曜 日	火曜夜間	木 曜 日
例会場	セレス所沢	野村證券	セレス所沢	セレス所沢

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1272 回例会 2012・9・18

卓 話	例会当番	記念祝福
9/18 「2570地区の現況」 ガバナーエレクト 中井眞一郎様	山崎 武邦	
9/25 「今の政治状況について」 衆議院議員 柴山 昌彦様	山田 富男	
10/2 佐藤 義治様	吉田 栄治	

■出席報告	
月 日	7/3
会員数	38
出席者	30
出席率	79.0%
前回修正	89.5%

会長の時間 室伏 秀樹

本当に暑い毎日が続いています。どうも彼岸まで続くと思われま。

健康にご留意ください。

本日の卓話は、私の会社の取引先の川越・中福に会社のある「産直グループこだわり村」の企画営業部長の加園一茂さんです。三富地域に伝わる伝統的な農業について卓話をお願いしました。

今年4月にオーストラリアからきたGSE(グループスタディエクスチェンジ)に当クラブが当番の時、4名全員の面倒を見ていただきました。

2014-15年度のRI会長に台北RCの黄其光(ゲイリー・ホアン)氏が決定しました。

来年はロン・バートン氏、アメリカオクラホマ州の方です。

先週5日(水)第3グループ会長幹事会があり3月9日のIMについて話がありました。

早急にIM委員1名選出し、委員会を3回くらい実施し

たいとのことです。新世代奉仕と関連する国際奉仕で行う予定です。

「糞谷八幡湿地保存会」から行事予定が来ています。昨年同様支援していきます。

先ほどの会長幹事会の席上で、中井眞一郎ガバナーエレクトに対し2011-12年度指名委員会として指名を取り消すので、ガバナーを辞退するよう勧告書が出ています。

規約がないため取り消しができないので辞退を待つものです。

その文章を読みます。

要はガバナー月信7月号で書かれた、次年度運営に大きな変革をします。

お金のかかりすぎている地区の運営に大鉈を振りますとの言葉に、歴代ガバナーが動き出しました。

私はいつまでも例年を踏襲する現在のロータリーに対し、中井さんの考えは必要だと思います。

幹事報告

大館 信夫

- ♥「ロータリー・リーダー」2012年9月号
- ♥公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会・・・
普通預金：申告用領収証の申請について
- ♥ロータリー財団・・・2013年に導入される補助金に
向けてクラブが準備をするために。
- ♥ロータリー囲碁同好会・・・10月20日（土）
9：30～ 日本棋院会館
- ♥第3グループ IM プレゼン担当実行委員選出のお
願い・・・9月17日（水）までに
- ♥“THE ROTARY-NO-TOMO” 2012-2013 年度版
11月中旬発行
- ♥糎谷八幡湿地保存会・・・平成24年度 糎谷八幡
湿地事業計画(後期)
- ♥例会変更・・・飯能 RC、入間南 RC、所沢 RC、
新所沢 RC、所沢中央 RC
- ♥週報・・・飯能 RC、入間南 RC

ニコニコボックス

宮岡 實

- 室伏 秀樹 三富の伝統農業の担い手、加園さん卓
話をよろしく。今晚チョット、ハワイに行ってきます。
- 大館 信夫 こだわり村 加園 一茂様本日は当
クラブのようこそ。将来的に入会していただける
とうれしいなあ！
- 鈴木 真澄 前回欠席。
- 太田 一夫 早退します。

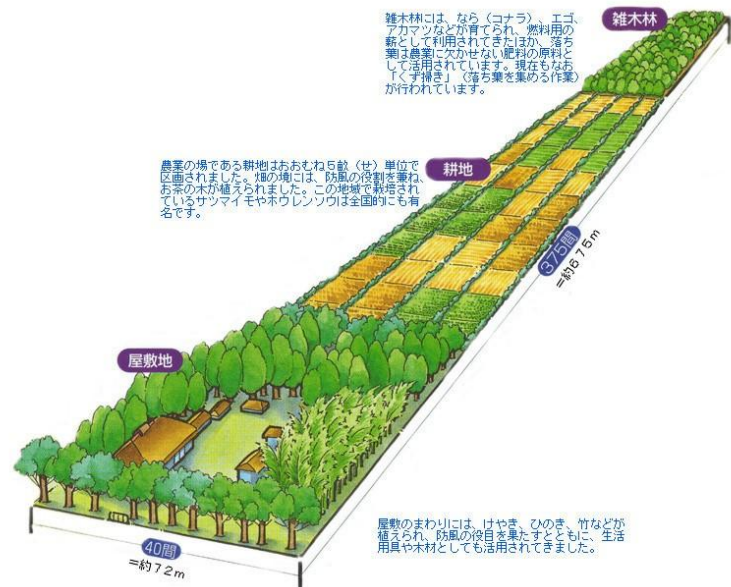
卓話 【川越の三富地域に伝わる 伝統的な農業とは】 加園 一茂 様

*有限会社 産直グループこだわり村。企画、営業
部長 今年4月のGES（オーストラリアの青年4
名）訪問の際お世話になりました。

今から約300年前、川越藩主の柳沢吉保によって
農地開拓が勧められました。農地改革以前の三富地
域は、関東ローム層に覆われた痩せた土地で、萱原
と疎林からなる中世以来の広大な原野のままでし
た。川越藩主の柳沢吉保は、川越地域の農家が安定
的に農業が出来るように、区画を整備・計画しなが
ら農地改革を行いました。区画の内訳は道路側に家
を建て、その外側を畑とし、さらにその奥を秣場・
山林（ヤマと呼ばれた雑木林）としました。



山林には、畑に使う堆肥の原料になる落ち葉を出
しやすく、燃料になる薪の原木にもなるコナラ・ク
ヌギ、さらには建築用材としての、オカマツ等を中
心に作られました。現在の川越市、所沢市、ふじみ
野市、狭山市、三芳町の地域の風景は雑木林が多い
印象を受けると思いますが、実はそのほとんどが、
江戸時代の三富開発によって出来上がった風景な
のです。



雑木林から出た落ち葉を堆肥にして目の前にあ
る畑に還元し、農産物を生産する。雑木林を管理し、
維持継承していけば、永久的に自分たちで肥料を手
にいれることができ、農業を続けていくことができ
ます。これこそまさに江戸時代から伝わる自然循環
型農業なのです。

私たち産直グループこだわり村では、代々受け継
がれてきた農地と雑木林、そして雑木林を手入れし、
そこから出る落ち葉を堆肥にして農産物を栽培す
る、伝統的な農業を継承し守り続けています。

今週の担当 鈴木真澄